



2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月3日

上場会社名 三菱ケミカルグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4188 URL <https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) ジョンマーク・ギルソン
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート コミュニケーション本部長 (氏名) 清水 治 (TEL) (03)6748-7120
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期 第1四半期	1,106,534	19.2	72,052	△18.7	68,004	△21.9	53,324	△9.9	44,879	△10.1	149,344	65.0
2022年3月期 第1四半期	928,264	28.4	88,676	490.8	87,022	266.8	59,200	619.2	49,927	865.7	90,532	323.8

(参考) 税引前四半期利益 2023年3月期第1四半期 75,055百万円(△12.0%) 2022年3月期第1四半期 85,291百万円(317.9%)

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当り 四半期利益	希薄化後1株当り 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	31.58	30.22
2022年3月期第1四半期	35.14	32.31

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,845,556	1,961,060	1,556,761	26.6
2022年3月期	5,573,871	1,844,319	1,458,077	26.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当り 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,162,000	14.7	125,000	△19.9	121,000	△21.0	80,000	△21.5	61,500	△27.8	43.28
通期	4,436,000	11.5	275,000	1.0	277,000	△8.6	194,000	△7.4	153,000	△13.6	107.66

(参考) 税引前利益 第2四半期(累計) 116,000百万円(△21.2%) 通期 266,000百万円(△8.4%)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,506,288,107株	2022年3月期	1,506,288,107株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	84,853,043株	2022年3月期	85,199,844株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	1,421,314,077株	2022年3月期1Q	1,420,721,525株

当社は、役員報酬BIP信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式(2022年3月期末及び2023年3月期1Q末 2,833,314株)は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(商号の変更について)

当社は、2021年12月に公表した新経営方針「Forging the future 未来を拓く」に基づき、2022年4月1日以降、「One Company, One Team」の考えによるフラットな組織体制への移行を進めております。グループが一体となって戦略を遂行する新組織体制を表すため、2022年7月1日付で商号を「株式会社三菱ケミカルホールディングス」から「三菱ケミカルグループ株式会社」へ変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 4
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12

(説明資料) 2023年3月期 第1四半期決算説明

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当社グループの当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日:以下同じ)における事業環境は、経済社会活動の正常化が進む中で、世界経済全体では持ち直しの動きが継続しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中国におけるロックダウンの影響等がみられる中で、原燃料価格の上昇やサプライチェーンの混乱に加え、景気の下振れリスクが懸念されるなど、先行きに対し不透明感のある状況が続いております。

このような状況下、売上収益は、前年同期(2021年4月1日～2021年6月30日:以下同じ)に比べ1,782億円増(+19.2%)の1兆1,065億円となりました。利益面では、コア営業利益は同166億円減(△18.7%)の721億円、営業利益は同190億円減(△21.9%)の680億円、税引前四半期利益は同102億円減(△12.0%)の751億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同50億円減(△10.1%)の449億円となりました。

(分野別の概況)

当第1四半期連結累計期間の分野別の業績の概要は次のとおりです。

なお、セグメント損益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

【機能商品分野】

機能商品セグメント

売上収益は前年同期に比べ364億円増加し3,195億円となり、コア営業利益は同54億円減少し212億円となりました。

ポリマーズ&コンパウンズサブセグメントにおいては、自動車用途を中心に販売数量が減少したものの、原料価格上昇に伴い販売価格への転嫁を推し進めたことにより、売上収益は増加しました。

フィルムズ&モールディングマテリアルズサブセグメントにおいては、2022年3月にアルミナ繊維事業を譲渡したことによる減少があるものの、原料価格上昇に伴う販売価格の是正に加え、モールディングマテリアルズの需要が堅調に推移したこと等により、売上収益は増加しました。

アドバンストソリューションズサブセグメントにおいては、原料価格上昇に伴う販売価格の是正に加え、半導体関連事業の需要が堅調に推移したこと等により、売上収益は増加しました。

当セグメントのコア営業利益は、原料価格上昇の影響等がある中で価格転嫁を推し進めたものの、コロナ禍からの販売活動回復に伴い費用が増加したこと等により、減少しました。

当第1四半期連結累計期間に当セグメントにおいて当社グループが実施又は発生した主な事項は、以下のとおりです。

- ・リチウムイオン電池向け負極材の旺盛な需要に対応するため、中国において、新規開発製品である低膨張を特長とする天然系負極材の生産能力を、現在の2,000トン/年から12,000トン/年に増強することを決定しました。2023年度前半の稼働を目標としています。

【素材分野】

① ケミカルズセグメント

売上収益は前年同期に比べ671億円増加し3,590億円となり、コア営業利益は同159億円減少し189億円となりました。

MMAサブセグメントにおいては、欧州やアジアで需要の減速がみられたものの、原燃料価格の上昇等に伴いMMAモノマーの販売価格が上昇したことにより、売上収益は増加しました。

石化サブセグメントにおいては、エチレンセンターの定期修理の影響が拡大したこと等により販売数量が減少したものの、原燃料価格の上昇等に伴い販売価格が上昇したことにより、売上収益は増加しました。

炭素サブセグメントにおいては、原燃料価格の上昇等に伴いコークスの販売価格が上昇したことにより、売上収益は増加しました。

当セグメントのコア営業利益は、原料価格上昇に伴い在庫評価益が拡大したものの、ポリオレフィン等にお

いて原料と製品の価格差が縮小したことに加え、総じて販売数量が減少したこと等により、減少しました。

② 産業ガスセグメント

売上収益は前年同期に比べ571億円増加し2,739億円となり、コア営業利益は同57億円増加し295億円となりました。

産業ガスにおいては、国内外の需要が堅調に推移したことに加え、燃料価格の上昇に伴う販売価格の上昇や為替影響等により、売上収益及びコア営業利益はともに増加しました。

当第1四半期連結累計期間に当セグメントにおいて当社グループが実施又は発生した主な事項は、以下のとおりです。

- ・ペルーの国営石油会社Petroleos del Peru（本社：ペルー・リマ）と、同社のTalara製油所向けで、水素及び窒素プラントの運転、保守、供給に関する契約を締結しました。HyCO事業におけるこれまでの実績や、同社に対する提案が評価され、今回の契約締結に至りました。水素及び窒素の供給は、2022年下半年以降を目標としています。

【ヘルスケア分野】

ヘルスケアセグメント

売上収益は前年同期に比べ50億円増加し1,034億円となり、コア営業利益は同14億円減少し33億円となりました。

医薬品においては、国内医療用医薬品で薬価改定等の影響を受けたものの、重点品の販売数量が伸長したこと等により、売上収益は増加しましたが、コア営業利益は、為替影響による研究開発費の増加等により減少しました。なお、Novartis Pharma社に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア®」のロイヤリティ収入については、2019年2月に仲裁手続きに入ったためロイヤリティ収入の一部について、IFRS第15号に従い売上収益の認識を行わないこととしました。当第1四半期連結累計期間におきましても、仲裁手続きが継続しているため、ロイヤリティ収入の一部について、売上収益の認識を行っておりません。

当第1四半期連結累計期間に当セグメントにおいて当社グループが実施又は発生した主な事項は、以下のとおりです。

- ・「RADICAVA ORS®」（開発コード：MT-1186、一般名：エダラボン）について、筋萎縮性側索硬化症（ALS）を適応症とした米国における承認を2022年5月に取得しました。エダラボンの投与経路はこれまで点滴静注に限られていましたが、本剤の承認により経口で服用できるため、注射による痛みや投与のための通院などALS患者さんの負担を軽減することが期待できます。
- ・「カナグル®錠100mg」（開発コード：TA-7284、一般名：カナグリフロジン水和物）について、2型糖尿病を合併する慢性腎臓病（ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く）の適応追加承認を日本において2022年6月に取得しました。今回の適応追加により、腎臓疾患に苦しんでいる患者さんのQOL向上に寄与していきます。

【その他】

売上収益は前年同期に比べ126億円増加し507億円となり、コア営業利益は前年同期並みの24億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、円安の進行に伴う在外連結子会社の資産の円貨換算額の増加や、原料価格上昇等による棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,717億円増加し5兆8,456億円となりました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	928,264	1,106,534
売上原価	△642,780	△816,966
売上総利益	285,484	289,568
販売費及び一般管理費	△201,406	△220,100
その他の営業収益	2,708	2,536
その他の営業費用	△4,354	△7,986
持分法による投資利益	4,590	3,986
営業利益	87,022	68,004
金融収益	4,185	12,918
金融費用	△5,916	△5,867
税引前四半期利益	85,291	75,055
法人所得税	△26,091	△21,731
四半期利益	59,200	53,324
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	49,927	44,879
非支配持分	9,273	8,445
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	35.14	31.58
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	32.31	30.22

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	59,200	53,324
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	20,539	△2,868
確定給付制度の再測定	2,944	△3,074
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	△98	61
純損益に振り替えられることのない 項目合計	23,385	△5,881
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	7,051	95,879
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動の有効部分	△606	1,251
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	1,502	4,771
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	7,947	101,901
税引後その他の包括利益合計	31,332	96,020
四半期包括利益	90,532	149,344
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	79,421	120,150
非支配持分	11,111	29,194

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	245,789	253,032
営業債権	825,996	855,005
棚卸資産	745,248	819,200
その他の金融資産	51,085	58,461
その他の流動資産	106,556	127,580
小計	1,974,674	2,113,278
売却目的で保有する資産	11,442	13,555
流動資産合計	1,986,116	2,126,833
非流動資産		
有形固定資産	1,899,695	1,990,041
のれん	705,412	732,444
無形資産	448,805	471,545
持分法で会計処理されている投資	174,791	170,407
その他の金融資産	233,533	231,975
その他の非流動資産	60,923	56,266
繰延税金資産	64,596	66,045
非流動資産合計	3,587,755	3,718,723
資産合計	5,573,871	5,845,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	486,874	503,383
社債及び借入金	411,213	523,614
未払法人所得税	34,875	24,187
その他の金融負債	291,237	294,984
引当金	15,601	16,695
その他の流動負債	178,613	171,328
小計	1,418,413	1,534,191
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	880	—
流動負債合計	1,419,293	1,534,191
非流動負債		
社債及び借入金	1,748,756	1,764,985
その他の金融負債	112,554	120,004
退職給付に係る負債	103,941	105,259
引当金	22,673	23,026
その他の非流動負債	147,212	153,196
繰延税金負債	175,123	183,835
非流動負債合計	2,310,259	2,350,305
負債合計	3,729,552	3,884,496
資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	170,600	170,285
自己株式	△62,870	△62,701
利益剰余金	1,213,677	1,235,203
その他の資本の構成要素	86,670	163,974
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,458,077	1,556,761
非支配持分	386,242	404,299
資本合計	1,844,319	1,961,060
負債及び資本合計	5,573,871	5,845,556

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金
2021年4月1日残高	50,000	179,716	△63,244	1,060,069
四半期利益	—	—	—	49,927
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	49,927
自己株式の取得	—	—	△5	—
自己株式の処分	—	△228	228	—
配当	—	—	—	△17,048
株式報酬取引	—	106	—	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	10	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	23
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	3,518
所有者との取引額等合計	—	△112	223	△13,507
2021年6月30日残高	50,000	179,604	△63,021	1,096,489

	その他の資本の構成要素				合計	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジの 公正価値の 純変動の 有効部分				
2021年4月1日残高	56,707	—	△47,077	168	9,798	1,236,339	334,809	1,571,148
四半期利益	—	—	—	—	—	49,927	9,273	59,200
その他の包括利益	20,578	3,039	6,509	△632	29,494	29,494	1,838	31,332
四半期包括利益	20,578	3,039	6,509	△632	29,494	79,421	11,111	90,532
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△5	—	△5
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
配当	—	—	—	—	—	△17,048	△6,455	△23,503
株式報酬取引	—	—	—	—	—	106	—	106
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	10	330	340
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	23	22	45
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	△479	△3,039	—	—	△3,518	—	—	—
所有者との取引額等合計	△479	△3,039	—	—	△3,518	△16,914	△6,103	△23,017
2021年6月30日残高	76,806	—	△40,568	△464	35,774	1,298,846	339,817	1,638,663

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金
2022年4月1日残高	50,000	170,600	△62,870	1,213,677
四半期利益	—	—	—	44,879
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	44,879
自己株式の取得	—	—	△4	—
自己株式の処分	—	△173	173	—
配当	—	—	—	△21,320
株式報酬取引	—	154	—	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△296	—	—
企業結合または事業分離 その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	△2,033
所有者との取引額等合計	—	△315	169	△23,353
2022年6月30日残高	50,000	170,285	△62,701	1,235,203

	その他の資本の構成要素				合計	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジの 公正価値の 純変動の 有効部分				
2022年4月1日残高	50,956	—	33,318	2,396	86,670	1,458,077	386,242	1,844,319
四半期利益	—	—	—	—	—	44,879	8,445	53,324
その他の包括利益	△501	△2,997	77,384	1,385	75,271	75,271	20,749	96,020
四半期包括利益	△501	△2,997	77,384	1,385	75,271	120,150	29,194	149,344
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
配当	—	—	—	—	—	△21,320	△10,996	△32,316
株式報酬取引	—	—	—	—	—	154	—	154
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△296	△654	△950
企業結合または事業分離 その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	△964	2,997	—	—	2,033	—	—	—
所有者との取引額等合計	△964	2,997	—	—	2,033	△21,466	△11,137	△32,603
2022年6月30日残高	49,491	—	110,702	3,781	163,974	1,556,761	404,299	1,961,060

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	85,291	75,055
減価償却費及び償却費	62,383	66,374
持分法による投資損益(△は益)	△4,590	△3,986
受取利息及び受取配当金	△4,133	△8,211
支払利息	5,423	5,562
営業債権の増減額(△は増加)	△2,076	△5,603
棚卸資産の増減額(△は増加)	△34,433	△52,876
営業債務の増減額(△は減少)	20,641	1,654
退職給付に係る資産及び負債の増減額	654	568
その他	△23,860	△13,280
小計	105,300	65,257
利息の受取額	306	170
配当金の受取額	7,454	16,661
利息の支払額	△5,494	△6,487
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△25,647	△52,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,919	23,491
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,781	△64,585
有形固定資産の売却による収入	585	1,137
無形資産の取得による支出	△3,878	△4,644
投資の取得による支出	△1,252	△320
投資の売却及び償還による収入	4,663	4,286
子会社の取得による支出	△6,501	△108
事業譲渡による収入	1,372	1,579
定期預金の純増減額(△は増加)	393	△1,055
その他	△1,026	1,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,425	△62,629

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△92,111	30,366
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△39,000	63,000
長期借入れによる収入	37,667	4,375
長期借入金の返済による支出	△36,504	△30,927
社債の発行による収入	69,636	16,913
社債の償還による支出	△25,000	△10,000
リース負債の返済による支出	△7,712	△8,948
自己株式の純増減額(△は増加)	△5	△4
配当金の支払額	△17,048	△21,320
非支配持分への配当金の支払額	△6,555	△11,129
その他	△1	552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,633	32,878
現金及び現金同等物に係る為替変動による 影響	2,058	13,366
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90,081	7,106
現金及び現金同等物の期首残高	349,577	245,789
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金 及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	137
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	253	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	259,749	253,032

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	機能商品	ケミカルズ	産業ガス	ヘルスケア	計				
売上収益									
外部収益	283,051	291,848	216,828	98,437	890,164	38,100	928,264	—	928,264
セグメント間 収益	13,596	11,086	1,475	71	26,228	42,601	68,829	△68,829	—
合計	296,647	302,934	218,303	98,508	916,392	80,701	997,093	△68,829	928,264
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	26,646	34,771	23,816	4,675	89,908	2,408	92,316	△3,640	88,676

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはエンジニアリング、運送及び倉庫業であります。
- 2 セグメント損益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,450百万円及びセグメント間消去取引△190百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費等であります。
- 3 セグメント損益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	機能商品	ケミカルズ	産業ガス	ヘルスケア	計				
売上収益									
外部収益	319,472	359,023	273,907	103,355	1,055,757	50,777	1,106,534	—	1,106,534
セグメント間 収益	13,763	12,093	2,099	150	28,105	45,670	73,775	△73,775	—
合計	333,235	371,116	276,006	103,505	1,083,862	96,447	1,180,309	△73,775	1,106,534
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	21,180	18,907	29,495	3,309	72,891	2,386	75,277	△3,225	72,052

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはエンジニアリング、運送及び倉庫業であります。
- 2 セグメント損益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,464百万円及びセグメント間消去取引239百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費等であります。
- 3 セグメント損益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント損益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
セグメント損益	88,676	72,052
仲裁裁定に伴う損失	—	△3,398
減損損失	△97	△229
固定資産除売却損	△320	△208
その他	△1,237	△213
営業利益	87,022	68,004
金融収益	4,185	12,918
金融費用	△5,916	△5,867
税引前四半期利益	85,291	75,055